

2020年4月12日（日）

主 題：「イエスはよみがえられた」

—ハレルヤ—

テキスト：マルコ福音書16章1—8節

はじめに・ **イースター、おめでとう！！**

今朝は、イエス・キリストが復活された記念すべき日です。死に勝利されたお方、このお方こそメシア（救世主）です。私たちは、このお方の復活を記念し、心から賛美をお捧げしましょう。

- ・さて、私たちの人生においては不思議な出来事が、時々とがあります。しかし、死人が復活したという話しはとはないでしょう。聖書は、その不思議な出来事（復しています。しかも、イエスの復活こそ「キリスト信仰」もあります。



起こるこ
聞いたこ
活)を語っ
の中心で

- ・本日の聖書テキストを開いてください。マルコ16章1-8節
安息日が終わった日の朝、3人の婦人たちがイエスの体に油を塗りに行こうと思い、香料を買いました。墓に到着するまで、婦人たちは心配していました。
16:3 彼女たちは、「だれが墓の入り口から石を転がしてくれるのでしょうか」と話し合っていた。
- ・ところが聖書は、次のように記録しています。
16:4 ところが、目を上げると、その石が転がしてあるのが見えた。石は非常に大きかった。
16:5 墓の中に入ると、真っ白な衣をまとった青年が、右側に座っているのが見えたので、彼女たちは非常に驚いた。
16:6 青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。
- ・天使たちは言いました。「あの方はよみがえられました。ここにはおられません。」(16:6)
イエス・キリストは死を打ち破り復活されました。それは神の子であるメシアのしるしでした。今日、私たちはイエスの復活を信仰で受け止めましょう。そして復活を記念し、次の2点を覚えたいと思います。

大切なポイント**1. 主に感謝しよう**

- ・天使たちは、途方にくれた女性たちに語りかけました。

16:6 青年は言った。「驚くことはありません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょうか。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められていた場所です。

- ・私たちはこの天使の言葉を受けて、感謝しようではありませんか。

1) 自分の弱さを嘆いている人、感謝しよう

- ・いかがでしょうか。あなたは今、人生で闘い、疲れているかもしれません。自力で、どうすることもできない限界を感じているかもしれません・・・(?)。
- ・自分はできると思っていたが、自分の貧しさを覚えているかもしれません。しかし、それでも天使はあなたに対し語っています。

16:7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます』と。

復活されたイエスに会うことができる！ と天使は言いました。そうです。

死に勝利されたイエスに会うことができるという、希望があります。

- ・私たちは、復活されたイエスにお会いできるのです。今の時代も、イエスにお会いできます。それは「デボーション」をとおしてお会いできます。イエスは、ある時は礼拝説教を通して、ある時は私が聖書を読んでいる時に、ある時は普通の生活の中で、私たちに会ってくださいます。なぜなら、復活されたお方であるからです。ですから、私たちは感謝しようではありませんか。

2) 自分には信仰がないという人、感謝しよう

- ・あなた今、自分には信仰がない、とっておられるかもしれません。信仰は前にあったが、今はもう死んでしまったとと思っているかもしれません。あるいは、教会に失望し何も新しい力を見出でないとっておられるかもしれません。
- ・しかし、そのあなたも復活のイエスにおいできるのです。なぜなら、イエスはそんな死んだような信仰しかない者にも、現れてくださいます。イエスは復活されたお方であるからです。

3) 重い足取りで教会に来た人、感謝しよう

- ・あなたは今日、だれかに誘われて、しぶしぶ教会に来られたかもしれません。また友人との会話の流れの中で、教会へ来られたかもしれません。でも、感謝しようではありませんか。
- ・3人の婦人たちは、墓に行かなければ天使の声を聞くことはありませんでした。また、ガリラヤでお会いするという約束の言葉も聞くことはなかったでしょう。
- * 皆さん。自分が弱った時でも、悩みの時でも、重い気持ちの時でも、とにかく教会へ来ることです。3人の婦人たちは、落胆、失望の中で、墓にやってきました。そこで、天使が現れ、イエスは生きておられると聞いたのでした。あなたにも、復活されてイエスとの出会いがあります。

2. 生きているお方を求めよう

- 16:7 さあ行って、弟子たちとペテロに伝えなさい。『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます』と。
 - 天使たちは死んで復活された、「イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます。」と言いました。生きているイエスに、お出会いできるとは、なんとという励まし、希望の言葉ではありませんか。
 - ルカの福音書24章には、次のように記録されて
24:5 彼女たちは恐ろしくなって、地面に顔を伏すと、その人たちはこう言った。「あなたはどうして生きている方を死人の中に捜すの
 - 私たちが砂漠で「水」が欲しいとき、大きな金魂でも何の役に立つことでしょうか。喉が渇き、死んでいる人には「水」しかありません。「いのちの
 - 教えてください。イエス・キリスト以外に、私たちの渇きを癒すものはありません。
 - イエスは言われました。ヨハネ4章
4:14 わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことはありません。わたし
が与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。
 - あなたの人生が、どんなに無味乾燥し、生きる意味も見失っているとしても、イエス・キリストを求めるならば、必ず「いのちの水」で満たされます。
-
- います。せた。がたは、ですか。があつに臨ん水」を与
- 『例 話』 ある脱北者の証し 「宣教の声」451号から
- 私は、母と姉の3人で国境を越えると決めたあの日は、まだ陽の光が差していた夕方前でした。私たちは覚悟を決めて豆満江（とうまんこう）に向かいました。北朝鮮から豆満江の国境沿線に行くためには、先ずは監視警戒所を数カ所通過しなければなりません。
 - そこは国境近くなので、通行証がなければ通ることはできません。私たちには通行証などはありませんでした。だんだんと監視警戒所が近づくにつれ、私は恐ろしさと心配で身体が震い出し始めました。そんな私の胸中とは裏腹に、空は雲一つない晴天日でした。
 - ところが、私たちが一番目の警戒所を通ろうとした時、目を疑うような光景が映りました。まばゆいほど晴れた空に、神様はいきなり大雨を降らせてくださいました。陽はさんさんと射しているのにもかかわらず、雨が突然降り出しました。警戒所で見張りをしていた軍人たちは驚きました。
 - 彼らは監視の傍ら、大豆などの作物を育てているので、突然の通り雨で、せっかく収穫した大切な大豆の束を濡らさないように、片付けるのに大忙しとなりました。彼らの注意が大豆に向いている間、私たちは速やかに第一の監視警戒所をくぐり抜けることができました。
 - 警戒所を通過してある程度進むと、あれほどの大雨が上がり、まるで何事も起こらなかつたような晴れた空に戻りました。この出来事はもはや、偶然という言葉では片付けられません。
 - なぜなら不思議なことに、私たちが二番目の警戒所に近づくと、明るい陽の中で再び雨が降り、またその警戒所でも先ほどと同じように、軍人たちは慌ただしく大豆の保護に注意が集中していました。

- ここでも私たちは、軍人たちに気付かれぬように警戒所を通り過ぎ、しばらく進むとまた雨が止み、結局三番目の警戒所を通過する時この奇跡的現象が再び起こり、私たちは通行証さえ持っていないにもかかわらず、全ての監視警戒所を突破することができました。
- これは命がけで、北朝鮮から脱出したある青年の証しです（現在、韓国で生活中）。十字架にかかり死んで復活された、イエス・キリストは今も生きておられます。彼は国境を通過することは、いのちがけでした。イエスは彼と多数のクリスチャンの祈りに応答くださいました。
- イエスは言われました。ヨハネ 14 章
4:14 わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」

ま と め

主 題：「イエスはよみがえられた」

—ハレルヤ—

- 今日は、イエス・キリストが復活された喜びの日です。も、生きて働いてくださるイエス・キリストはおられます。私たちはこのお方に感謝しようではありませんか。そして、生きて働いてくださるイエス・キリストを求めようではありませんか。
- イエスは私たちから遠い所におられるではありません。近くにいてくださいます。イエスは言われました。マタ



そして今
す。私た
今日も生
りません

いいえ、
イ福音書

18 章

18:20 二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしもその中にいるのです。」

- そして、復活されたイエス・キリストはこう言われました。ヨハネ 14 章
4:14 わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」
- 私たちは今年のイースター、復活のイエスを喜び、感謝し、そして主イエスとともに歩む信仰を、心新たにしようではありませんか。

* God bless you !